

# はかた中だより

## 第 16 号

令和4年2月6日

### 1 少年式を挙行いたしました。(校長式辞です)

寒さの中にも梅の木は、赤いつぼみをほころばせ、春の近いことを知らせています。そんな中、本日、少年式を迎えられた42名の2年生の皆さん、おめでとうございます。

14歳の晴れの門出を迎えられた皆さんを、心から祝福します。また、本日は、お忙しい中、今治市 伯方支所長 野間 誠様をはじめ、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、このように盛大に少年式を挙行できますこと、誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

さて、わが国では、昔から一生の中で満14歳を人生における大切な節目とし、大人になったことを表すために、名を改め、大人の衣服を着用し、髪を結び冠をつけ皆でお祝いをする儀式がありました。これによって、大人としての自覚を持ち、稚心を捨て志を立てたものです。こうした我が国古来の伝統を大切にする精神を養う一貫として、愛媛県では、立春の日を、「少年の日」と定め、中学2年生を対象として、「自覚」「立志」「健康」の三つの目標の下に、お祝いの式が行われています。

ところで、少年の日を迎えるみなさんの「決意の言葉」を読ませていただきました。その中には、「相手の気持ちを考えて行動したい」、「自立した大人になる」などの立派な「自覚」が見えたり、「笑顔がすてきな看護師になる」、「人を笑顔にできる社会福祉士になる」、「みんなから頼られる大工になる」といった、力強い「立志」も見ることができ、とても頼もしく感じました。

そこで、人生の節目に当たる本日、皆さんにお願いしたいことがあります。それは、人として大切な心である、「感謝する心」と「感動する心」を育ててほしいということです。AI やロボットの技術がいかに進歩しようとも、人として大切な心を育てておけば、きっと豊かな将来を、送ることができます。あなたたちが住む、このふるさと伯方島は、自然が大変美しいところです。「住みたい田舎ランキング」で、日本一に輝いた今治市の一部でもあります。ここに住む人々や、海、山、瀬戸内を渡ってくる風からも温かさを感じます。このすばらしい伯方に生まれ育つ自分を、今一度見つめなおし、大人としての一步を踏み出してほしいと思います。そのためにも、自分を支えてくれる家族に、仲間に、この島に「感謝する心」を、この伯方島のすばらしい自然に「感動する心」を育ててほしいのです。自分が、大人へと踏み出す節目としての「自覚」と、自分の可能性を信じ努力し続けるための「立志」と、何事にも立ち向かうことができる「健康」を備え、来るべき未来社会を、しなやかに、そしてたくましく生き抜いてほしいと思います。

保護者の皆様は、一言申し上げます。本日は、お子様が、晴れの「少年の日」を迎えられたこと、誠にありがとうございます。日々慈しみ、深い愛情を持って育ててこられた保護者の皆様には、喜びもひとしおのことと推察いたします。成長の著しい、多感な時期であり、楽しい思いも、時には大変な思いもすることがあると思いますが、それらを糧として、未来に大きく飛躍していくことを、心から願っています。私たち教職員も精いっぱい努めさせていただきます。今後とも、本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

最後に、2年生の皆さんの今後の更なる成長をお祈り申し上げまして、式辞といたします。

校訓 自らが学ぶ

学校の教育目標

豊かな心を持ち

主体的に行動する生徒の育成

TEL: (0897) 72-1055

FAX (0897) 72-1053



令和5年2月3日

## 2 1年生が郷土料理づくりに挑戦しました。

伯方町生活改善グループの方々の協力を得て、1年生が郷土料理づくりに挑戦しました。献立は、タコ飯、どべくり汁、レンコンバーグ、いぎす豆腐、いりこです。6班編成の各班に、伯方町生活改善グループの方が一人ずつついてくださり指導に当たってくださりました。どべくり汁に入れるうどんも手作りしました。とてもおいしい郷土料理が出来上がり、「毎日郷土料理だったらいいのに」などという感想が飛び出していました。タコ飯は、感激するくらいおいしかったです。どべくり汁は、身も心も温まりました。かなりの量が出来上がりましたが、生徒たちは、伯方町生活改善グループの方々への感謝の気持ちを持って完食しました。後片付けも、班員で協力してやり遂げることができました。地域おこし協力隊の方が見学に来ていて、「すてきな学校、すてきな生徒達ですね」と話してくれたのが印象的でした。



## 3 1年生がふるさと学習を行いました。

しまなみ振興局の方と、今治市地域おこし協力隊の伯方在住の方を、ゲストティーチャーとして招聘し、1年生がふるさと学習を行いました。両講師の方々が、今治市や特にしまなみ地域の魅力を様々な角度から紹介していただき、生徒たちは、ふるさと伯方の「良さ」を再確認することができました。講師の方々が、熱く語る講演内容を、熱心にメモしている姿が印象に残りました。このような授業を通して、郷土愛がますます育っていくのだなと感じた時間でした。

## 4 3年生がJA 越智・今治様より伊予柑をいただきました。

JA 越智今治様より、入試の合格祈願をこめて、3年生に伊予柑をいただきました。毎年の恒例行事となった「愛媛いよかん いい予感」の贈呈です。受検を控える3年生がとても勇気づけられます。伊予柑を受け取った代表生徒が、とてもうれしそうでした。バリーさんにラッピングされた縁起物の伊予柑を食べて、受検を元気に乗り切ってほしいと思います。JA 越智・今治様、ありがとうございました。



## 家族の絆エッセイ(第6弾) 心温まる2年生男子生徒の作品です。



最近反抗期に入って、母さんの放つ一言一言に口答えしてしまうことがある。口答えした次の日には、そのことを後悔するのがいつものことだ。「どうして、いつも僕のことを一番に考えてくれている母さんに、あんなことを言ってしまったんだ。」と後で後悔するのに、また口答えしてけんかになる。もう、そんな自分にうんざりしている。

母さん、僕は今、こんな不安定な状態なんだ。本当は、母さんのことが大好きなんだよ。いつも、笑顔で僕のことを気にかけてくれてありがとう。今はこんなに偉そうに反抗ばかりしているけど、大きくなったら立派な大人になって、母さんに恩返しするからね。今は、たくさん世話になっているけど、僕が大人になったら反対だ。僕に何でも頼ってね。今の母さんが、僕にしてくれているように、僕が母さんに何でもしてあげる。僕の将来、期待しているね。

母さん、ずっと大好きだよ。

